

ウィンド・ピアⅡ (無鉛) エプロン/コート

[形状・構造及び原理等]

×線防護材料を保護材で覆う構造となっており部位に応じ装着できる形状にしたもの。

<形状>



(前面)



(背面)

外観全体



内部状態

(前面)



(前面)



(背面)

インナーウェア①



(前面)



(背面)

インナーウェア②

<構造>

構造は下記表 1、表 2、表 3 に記載した通りである。

表 1

種類	型式	サイズ
前掛型	WPAⅡ	S, M, L
コート型	WPCⅡ	S, M, L

本添付文章に該当する製品の製品名、型式、製造番号、鉛当量、サイズ等については、製品及び包装表示ラベルに記載されているので確認すること。

防護材の組成

塩化ビニル樹脂に鉛と同等の×線防護に適した元素を混和したもの。

保護材の組成

ポリウレタン樹脂又はポリ塩化ビニル樹脂。

ポリ塩化ビニルの可塑剤

フタル酸ジアルキル。

フタル酸ジ-2-エチルヘキシル。

ケーブルの組成

塩化ビニル

バッテリーの組成

ABS樹脂

エアアダプター、バックフレーム

ポリプロピレン

インナースペーサー

低密度ポリエチレン

インナーウェア

ポリエステル

構成部品 (防護衣以外)

①ケーブル (黒) ~防護衣内に配線済み。



②バッテリー

寸法 : W65 × D19 × H85. 5mm

重量 : 44. 8 g / 個

出力 : 4. 8 V (強)、3. 3 V (弱) ※1

6 V (強)、3. 9 V (弱) ※2

数量 : 1 個

※1 = ニッケル水素乾電池の場合

※2 = アルカリ乾電池の場合



※PSEマーク (電気用品安全法) の対象外です。

③ファン~防護衣内に内蔵済み。

寸法 : 直径=98mm、厚さ=48mm

重量 : 94. 1 g / 個

数量 : 2 個

回転数 : 約3200rpm/min



④エアアダプター

寸法 : 直径=12. 2mm、厚さ=37mm

重量 : 10 g

数量 : 2 個



性能

JIS Z4501で規定される×線管電圧100kVでの試験において、「表2」に記載された値以上の鉛当量を有する。

表 2

単位:mmPb

型式	前面	後面
WPAⅡ	0.25	0.25
WPCⅡ	0.25	0.25

<各管電圧に対する遮蔽効果の変化>

鉛以外の元素を有する製品の為、X線管電圧により遮へい効果が変化するの
で注意のこと。詳細は「表3」で確認のこと。

表3

管電圧 鉛当量	60 kV	80 kV	90 kV	100 kV	110 kV	120 kV	150 kV
0.25mmPbの製品	0.18	0.26	0.26	0.26	0.22	0.20	0.16
0.35mmPbの製品	0.42	0.42	0.42	0.41	0.35	0.30	0.23
0.5 mmPbの製品	0.45	0.54	0.55	0.52	0.44	0.38	0.29

J I S Z 4 5 0 1に基づいて透過X線量を測定し、鉛当量をもとめている。

【使用目的、効能又は効果】

＜使用目的＞

患者、術者、又は他の人員の体の一部を医療又は歯科における放射線被曝から保護するための標準長又は半分の長さの前掛状の衣類をいう。頸部及び甲状腺を保護するための固定式又は脱着式の衿を備えている場合がある。

＜効果＞

J I S Z 4 5 0 1「X線防護用品類の鉛当量試験方法」で規定されているX線管電圧100kVでの試験において表示の鉛当量以上の遮蔽効果を有する。

【使用上の注意】

- ①微弱な電波雑音を発生する為、その使用環境で周辺機器への影響が確認された場合は使用しないこと。
- ②ファン、バッテリー、ケーブルに水分が付着しないようにすること。
- ③ファンにはケガをしないように、指などをいれないこと。
- ④管電圧150kV以下のX線で診療を行う場合に散乱線(迷X線)からの被曝量を低減させることを目的としており、一次放射線(直接線)などの放射線被曝の保護には使用しないこと。
- ⑤X線防護材料に損傷、またはその恐れのある場合は使用しないこと。
- ⑥折り曲げ等が繰り返されると、X線防護材料の遮へい効果を損ずる原因となるので注意すること。
- ⑦外観に傷、変形等が見付かったときは使用しないこと。
- ⑧廃棄する場合は、必ず地方自治体の条例・規則に従い、許可を得た産業廃棄物処理業者に廃棄を依頼のこと。
- ⑨防護衣表面材の消毒は、消毒用アルコールで清拭すること。ガス滅菌、蒸気滅菌、煮沸、クレゾール等は、変質や早期劣化のおそれがあり、使用しないこと。
- ⑩インナーウェアの洗濯方法は水洗い、ドライクリーニング(本体に表示)とし、ファン、インナー Spacer、バックフレーム等の付属品を全て取り外し、ファスナーを閉じネット等に入れて行うこと。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

＜保管方法＞

- ①ハンガーに掛ける等して、保管すること。
- ②直射日光が当たる場所や暖房器具等高温環境下での保管はしないこと。
- ③多湿もしくは結露する場所では保管はしないこと。

＜使用期間＞

X線防護材料に損傷をきたすまでとする(ファン、バッテリー除く)。

【保守・点検に係る事項】

使用者による保守点検事項

- ①日常の始業、終業時に目視、触覚等により点検を必ず行うこと。
- ②半年に1回以上のX線透視又は透過写真撮影による検査を行うこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

■製造販売業者 株式会社 保科製作所
住 所 〒113-0033 東京都文京区本郷2-16-13
電話番号 03-3814-8765

■製造業者 株式会社 保科製作所
住 所 〒300-1216 茨城県牛久市神谷6-38-14
電話番号 029-874-3382